

(三) 解体後の「分反」大衆の任務

(1) 党諸機関との正統的関係の復活
既に党の組織内にあるものは党のあらゆる機関との正統的関係を再建する緊要な任務あり。また、実質的党の組織外にあるものは、党のあらゆる機関との正統的関係を復活するために努力せねばならぬ。また「分反」組織後「分反」支部として成立せる新たる支部は、遂から入党の手続きをとり、党より正統的関係の創設に努力すべしである。

(2) 合同の實現的完成
七党合同は、支那に於て形式的にも完成し、あるが、地味があり、かつ又、党本部も大衆の要求の上に確立せるものではない。殊に清党運動後、旧党意識や感情上り討立に依りて合同完成の障礙的條件たる大衆と大衆と持たざるが實現されてゐない。それ故に今やこの契機に於て、無用なる黨派別心をすくはし、共同目的——支配階級との斗争——のために融合することを努力せねばならぬ。

(3) 地方政党政議會との無条件合同の促進
全合同の實現の一歩として、まず可能なる範圍上りの合同をなして、とりこむべく地方政党政議會との無条件合同に努力せねばならぬ。党大衆の火端に立つて、来るべき党大会を期として、これが實現を圖らねばならぬ。

(4) 大同業運動の促進、發展、右翼派の掃出、全業主義の掃出、從進左翼主義的傾向と斗争して日本大衆党として、真正の統一戦線党たらしむべく努力せねばならぬ。

(5) 党内民主主義の確立
官僚的、教会的、宗派的、感情的、親分的、これらの一切の支配と斗争して、民主的統制の確立に努力せねばならぬ。この實現は、真正の統一戦線党に於ては、時に到達して居らぬが、政治的の確立に何一つは、あつても努力せねばならぬ。

(6) 政治的日帝斗争の激発、参加
政治的日帝斗争を勇敢に展開すること、党の拡大、強壯、未組織の組織のために必要である。そのためには、右翼派並に中間派幹部は、とすれば、大衆の斗争心を抑制し、大衆の進出を阻止する傾向がある。これを克服し、この大衆の斗争心をますます燃やしたるために「分反」大衆は、政治的日帝斗争を激発し、これが火端に立つて、勇敢に闘争しなればならぬ。